

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

佐賀県 みやき町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	7.42	100.00	3,780

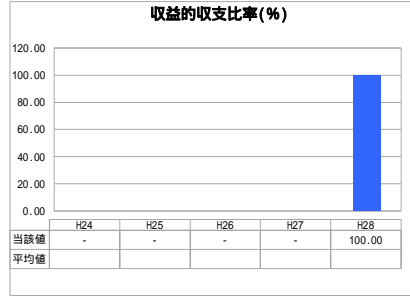
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
25,552	51.92	492.14
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,892	0.30	6,306.67

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 平成28年度全国平均

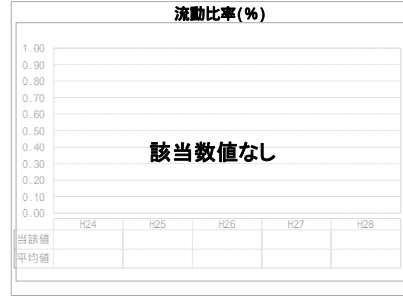
## 1. 経営の健全性・効率性



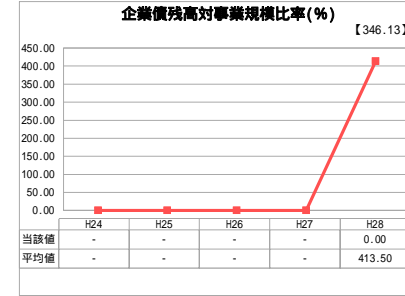
「単年度の収支」



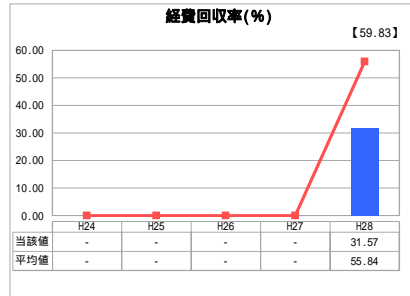
「累積欠損」



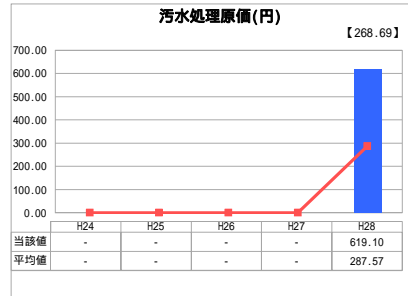
「支払能力」



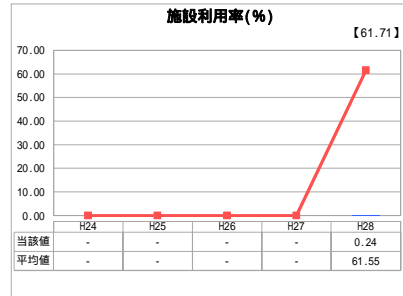
「債務残高」



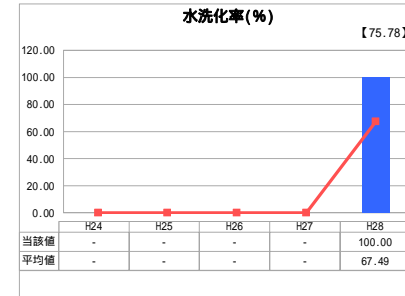
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

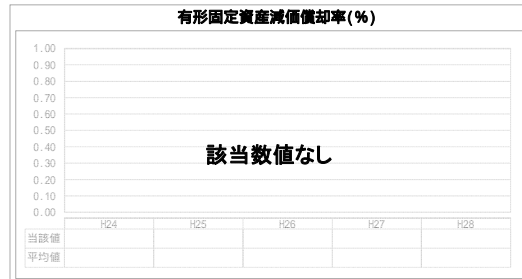


「施設の効率性」

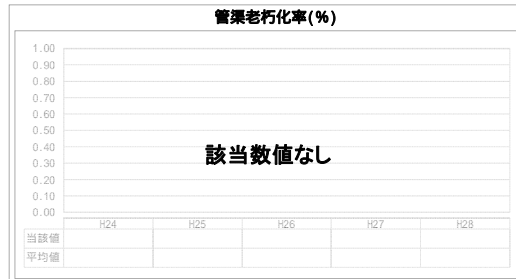


「使用料対象の捕捉」

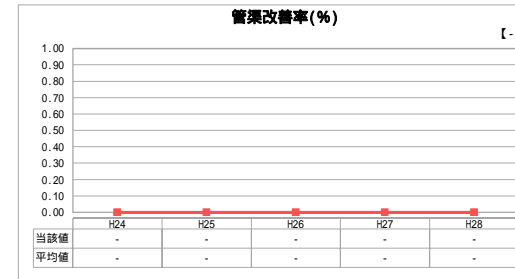
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本事業は、平成28年4月から公共下水道事業全体計画区域及び農業集落排水事業指定区域を除く区域に浄化槽を町が主体となって整備する事業いわゆる市町村設置型浄化槽事業を開始した。

また、PFI事業として民間事業者の技術力、ノウハウ等を活用することにより、浄化槽の設置業務、設置された浄化槽及び寄附を受けた浄化槽の維持管理業務（汚泥清掃・収集運搬業務を除く。）を町の財政負担の軽減を図りながら効率的に実施している。

収益的収支は100.0%となっているが、経費回収率が32%で68%が一般会計からの繰り入れとなっている事と、下水道事業、農排事業と同一基準で使用料を算定している事が経費回収率が低い要因となっている。

経営の健全化に向けて、汚水処理単価を下げる為に、維持管理費の抑制や、使用料金の形態について見直す必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

平成28年度において、新規設置157基、寄附採納435基となった。浄化槽の耐用年数が30年～40年とされているが、今後寄附採納を受けた浄化槽については、修繕等が発生する事が懸念され、財政計画に影響が与える事が想定される。浄化槽のメーカや、設置年度、使用形態に合わせ、計画的に修繕を行い、経営に影響がでないようにしていくことが必要である。

### 全体総括

浄化槽事業を開始したことにより、水洗化率は上昇し、処理区域内人口も増加しているものの、建設費に対する起債償還がH29年度より開始される。

10年間の事業で、今後元利償還額が増大し、一般会計からの繰入金も多額になっていくことが想定される。

収入の確保が重要事項であるが、浄化槽の場合は管理基数の増が維持管理費の増につながるため、維持管理費の縮減や、使用料見直し、使用料以外の収入源を模索し収入確保に努める必要がある。

法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。